

# キリバス交流会を振り返って

名前 寺田 和心

角間川はもちろん、秋田、日本といった狭い視野では  
分からないようなこと、世界中のどこかで起っているのは分かる  
いたけれど危機感までは感じなかった課題、そして、それに対する現地の皆さんの強い思い  
が感じられました。同じ地球で本当に起きている事実なんだという点、私達も真摯に受  
け止め、他人事としては考えられない存在と改めて強く思いました。スピーチしていたたいた  
原稿の和訳に「私たちの責任」という言葉がありました。現地の方は実際大好き  
な故郷がどんどん小さくなり、ついには生活することもできない可能性がある未来に例  
えるという実感があるからそう思えると思います。しかし、私たちのように学ぶ機会がなく、自  
国もあまり影響を受けられない人々にとっては、重いことだという認識がないと思います。そ  
んな人たちに分かってもらえるように、「あー大変だね。」という共感だけで終わらせないため、  
私たちが動くべきだと思います。SDGs、特に気候変動そして自国愛を共有できて嬉し  
く思います。意見を共有することで新しい発見もありました。「緩和策」と「適応策」の両  
立を図るために、両立できた結果「誰ひとり残さない」未来にするために、行動ひとつひとつ  
に意味を込めたいです。私たちが平等に平和に活躍できる笑顔溢れる未来をつくるのは  
私達です。今日の交流をきっかけに周囲の人だけでなく世界に発  
信することの素晴らしい学びができました。これから一緒に  
世界中のみんなが幸せな未来をつくりましょう!! 今日はいかがう  
ジグザグしました。

